

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710  
**WEEKLY BULLTIN 竹原ロータリークラブ週報**



会 長 夜船 正昭  
 会長エレクト 久藤 孝仁  
 副 会 長 菅 義尚  
 幹 事 佐々木 秀明  
 副 幹 事 中川 康子  
 会 計 田中 幸俊  
 S A A 下山 生修

副 S A A 小坂 啓子  
 直 前 会 長 木村 安伸  
 管 理 運 営 大成 義彦  
 会 員 組 織 土居 敏昭  
 奉 仕 朝比奈 勝也  
 広 報 宮本 和彦  
 R財団 米山 大森 寛

四つのテスト  
 1. 真実かどうか  
 2. みんなに公平か  
 3. 好意と友情を深めるか  
 4. みんなのためになるかどうか

事務局 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1 おおぎビル102号  
 TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651  
 Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp HP:takehara-rc.com/  
 大広苑 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 TEL 0846-22-2970  
 例会日 毎週木曜日12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 6月11日	次回のプログラム 6月18日
次年度クラブアッセンブリー	後半を振り返って (会長)

**【 2015年6月4日 第2479回例会記録 】**

6月リハーサル月間

□ソング: 国歌・奉仕の理想・4つのテスト

**スマイルボックス**

- 会員誕生日 …土居、尾野、井上
- 配偶者誕生日…木村、久藤
- 結婚記念日 …吉岡、夜船
- 事業所創立 …佐藤

**クライニングボックス**

- ・寄贈品清掃日に急用があり参加できず申し訳ございません。(坂田武文)

**記念日代表謝辞**

6月記念日を代表して尾野会員よりお礼の言葉が述べられました。

**幹事報告**

- 次年度幹事 三好 静子
- ・竹原市まつり協会平成27年度役員総会ご案内  
 日時 6月16日(火)15時  
 場所 竹原商工会議所
  - ・第59回芸南学童水泳大会後援名義使用について  
 日時 7月25日(土)  
 場所 大乘小学校プール
  - ・G9 I M D V D G9ガバナー補佐 森崎正治
  - ・地区大会仮登録出欠回覧
  - ・2015-16年度ロータリー手帳配布
  - ・5月28日開催次年度理事役員委員長会議報告  
 活動計画・行事予定・予算・委員会構成 承認  
 尚、地区大会・4クラブ合同例会は出席会員登録料6,000円、I M 全会員登録料6,000円。

**会長の時間**



次年度会長 久藤 孝仁  
 いよいよ、2015-16年度のリハーサル月間がやってきました。  
 次年度理事役員一同、心機一転2015-16年度の活動を行ってまいりたいと思いますので会員皆様のご協力をお願い申

上げます。  
 また、夜船会長、佐々木幹事におかれましては、1年間ご苦勞様でございました。竹原ロータリークラブ50年の歴史を踏まえ、皆様方と例会や炉辺会合を交え日々精進してまいりますので、寛容の精神においてご指導頂きますようお願い申し上げます。  
 よくロータリーは、人生哲学であると申します。英語で(フィロソフィー)と言いますが、会話の中でも哲学的な会話をしますと、(good philosophy)と賛同の意を述べてくれます。そのような話も交え皆様と情報共有を行おうと思っておりますのでよろしくお祈りします。  
 Philosophyの語源はギリシャ語の「知を愛する事」の意味だそうです。知を愛し、友情を育み、会員間で切磋琢磨して行きましょう。  
 先日(5月28日)テレビのニュースで報道されておりました下関市の知的障害の方々への生活支援施設において、日常的に暴行や虐待が行われていたことに強い憤りを感じております。  
 当地においては、知的障害者の生活支援として、安芸津ではつばさ作業所、竹原では、わかたけ作業所や中国芸南学園等々、多くの施設があります。知的障害者と言う生活弱者、また次年度の中川社会奉仕委員長は活動目標の中に、認知症の人と家族を地域社会として支援する事も掲げておられま

す。認知症の方々も生活弱者と呼ばれる方々だと思います。未来の夢計画では、補助金対象に人道支援をうたわれておられますが、まさに今の日本社会においては、このような生活弱者の方々への支援が必要ではないでしょうか。

人道支援と言いますと、まず、飢餓や戦争難民等が頭をよぎりますが、現代日本で今日の食糧が無いとか切迫した緊急の支援が無いと生きていけない人はほとんど居ないと思います。まさに日本で近隣で、また当地での人道支援はこのような生活弱者の方々に行わなければいけないと痛感をいたしました。

そこで改めて、人道支援と言う言葉の意味を調べましたが、その中には、「はなはだしい人権侵害の救済」も書かれておりました。

次年度の補助金事業の方向性の一つに提案をさせて頂けるかどうかわかりませんが、このような事柄も話題に取り上げ議論して頂きたいと思います。次年度の目標のキーワードに「communication」を挙げさせて頂きました。会員間と、また、他団体も含みまして、おおいに語り合い、地域ニーズの発掘や知り合いを深める活動を共に行って行きましょう。

## 委員会報告

□会長 夜船 正昭

本日例会終了後、今年度の理事役員会を開催致します。関係者の方は出席よろしくお願い致します。

## 誕生月該当者会員卓話



会員 井上 盛文

私は昨年4月に入会させて頂き、一年余りに至りました。最初ロータリークラブがどのような団体なのか理解できていませんでしたが、この一年を通じ、ロータリーが地域や他団体とどのように関わっているのか、また

ロータリーの目的はどこにあるのか等考えておりました。まだ十分に考慮できていませんが私の考えを皆様にご提示し、間違ったところがありましたらご指導頂ければと思っております。

先ず職業奉仕について調べてみました。ホームページにRI2660地区ロータリー百科事典に記載がありましたので一部抜粋してご紹介します。

職業奉仕とは、“職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねることです。”さらに、“ロータリアンは日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めているのです。このような仕事の仕方をロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。”と、職業奉仕を二つの面から述べられています。また、“道徳的能力の基本は、人間が他の人々や動植物を含む自然環境に対して、どのような態度を取るべきかを適切に判断する能力であると考えられます。”さらに、“道徳的能力の根本

は想像力です。想像力は人文、社会、自然科学を推進する原動力でもあります。想像力を駆使して試行錯誤を繰り返すことで、科学は、そして社会は進歩していくのです。想像力の成果の集積は新しいものや概念や職業の創造に繋ぐことができます。創造力は想像力の集積の結果として生まれてくるものです。”

そこで、道徳、倫理とは何か。ロータリーの目的があると思いますが、その基本にあるのは価値基準、即ち、常識、道徳、倫理であると思います。ある書物に、道徳についての定義は、一つとして、

“人間がこれに従って行動すべき正当な原理、と、その原理に従って行為できるように育成された人間の習慣である。”二点目に、“はじめ慣習、風習、習俗の中に現れるが、人間の批判的な自覚の高まりと共に慣習や習俗を批判し反省しながら慣習から分化した精神的基準として現れるのが道徳である。”さらに、倫理と道徳、道徳はあくまで個人の中にあるもので、倫理とは対人関係、他者・他人との関係の中に道徳的なものがあり、それを総じて倫理と言う、と書かれています。

道徳はロータリーを支える中心で、それを基に職業を通じて我々が社会と関わるのだと思います。それでは、なぜ職業奉仕が中心なのか。ロータリーは一業種一人です。それぞれ職業の方が入っていると、職業を通じ、それぞれの目線で見て、社会全体を切る、それが合わさったものを通じて社会をより良くするのだ、と入会時に藤中会員からお聞きしました。

社会について考えますと、自然があり、我々は生きています。そこに産業・文化・教育があり、その関係性と循環についてお話しします。

自然があり、農耕をし、いろんなことを人間はやってきました。最初にやったのは農地を作る、即ち社会インフラです。そして道路、河川、港湾を作る。それにより一次産業としての農業、林業等が成り立ちます、工業に於いてもそうです。そうしますと産業を基に雇用が生まれます。そして経済基盤が確立され、共同体の目覚めや中間団体が出来ます。更に経済基盤を基に個々の生活が成り立ち、健康、医療、介護、子育てへの関心が生まれ、生活の積み重ねの中で文化が出来るのだと思います。そして文化・生活を維持発展させるために教育が必要になります。そういう循環で、相互にあるものを繋ぎ、より良いものとなるために三次産業（サービス業）が生まれます。こういった形の中で皆さんと一緒に考えたいことは、農業を行うには自然を改良し、農業に適したインフラが必要であります。企業誘致にしても最低限のインフラが必要です。産業があっても仕事があるとは限りません。例えば竹原市内に金融機関がありますが、お勤めされている方は多くの方が市外の方という場合もあります。

生活文化あるいは教育との関係は目的と手段の関係であります。教育は非常に重要なことですが、それはすべて生活を維持発展させる為に必要なものだと思います。

竹原市に於いて思いますのが、社会インフラが少し他の地域に比べ弱いが為に、何か事を興そうと

する時にチャンスが掴めないことも、この循環の中でわかって頂けるのではないかと定義しました。職業奉仕をする為には、町や社会の循環・関係性を我々が理解し、議論していかないとお互いに良くなれないのではないのかと思います。

次にロータリーの友から紹介します。ロータリーの友は皆さんお読みと思います。非常に良いと思っておりますが、特にSPEECHというコーナーが今の日本・世界の中における状況の中の課題を時にふれて提示されていると感じています。

平成26年10月号のSPEECHに渋沢栄一から読み解く「21世紀の経営者精神」の記事があります。渋沢栄一は道徳と経済は、本質的に一致すると言っています。道徳と経済とは紙の裏表、表裏一体だと言っています。紙の表に道徳、裏に経済と書いてあり、紙ですから透けて見えます。道徳の側から見れば経済が透けて見え、経済の側から見れば道徳が透けて見えます。このように表裏一体だというのが「道徳経済合一」と書かれてあります。

そして、道徳には消極的道徳と積極的道徳があり、今、消極的な道徳ではなくて、社会に関わろうとする、何かを成そうとする積極的道徳がいるのではないかと定義されています。さらにロータリーとの関係で「Service Above Self (超我の奉仕)」は、この渋沢栄一さんが言われている「公益第一、私利第二」に通じていますよと。さらに、その中で言われているのが、私利の第二がいるんですよ。私が幸せになる、私が良くなる為に、公益を一番にやりましょう、それこそが「超我の奉仕」ではなかろうかと述べられています。

ロータリーの記事に基づいて皆さんと数分でもお話しが出来れば、より一層良い会になるのではないかと考えております。

来年度、私は青少奉仕年委員長をさせていただきますが、教育についても何か定義させて頂ければと思っております。先ほど会長の時間で久藤会長エレクトが“弱者への配慮”ということを言われました。ちょうど今月のロータリーの友SPEECHも「子どもたちに寄り添う」という記事です。様々な視点で我々ロータリーも見ていかなければならないのではと思っています。

## 出席報告

総員	出席	欠席	メイク	免除	出席率
38名	26名	6名	3名	3名	84.21%

## 理事会報告（6月）

□日 時 平成27年6月4日(木)

□場 所 大広苑

□出席者 6名

□議 題

①山根会員所属委員会 クラブ管理(親睦) 承認

②リフレッシュ統一行動の件 承認

日時 6月28日(日)

③竹鶴政孝・リタ銅像除幕式の件 承認

日時 6月20日(土)

④平成27年度少年の主張竹原市中学生話し方大会  
後援の件 承認

日時 6月13日(土)

場所 竹原市民館

後援 10,000円

⑤退会届の件 承認